

片庭市政 2期目の展望



2期目の市長就任となった片庭市長。これまで4年間かけて進めてきたまちづくりの、さらなる発展と充実を目指し、より精力的に取り組めます。

今月は、2期目就任後の片庭市長の市政運営や、今後のまちづくりについての思いを掲載します。

2期目に描く“みらい”予想図

はじめに

はじめに、今回市民の皆様からの温かいご支援とご支持をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。また、引き続き

つくばみらい市政という重責を担わせていただきますこと大変光栄に存じます。同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。市民の皆様からの大きな期待に沿えるよう、これまで以上に真摯に取り組む所存ですので、どうぞ宜しくお願いたします。

みらい平地区と既存地区

双方の視点から考える

当市は、つくばエクスプレスの開通と、みらい平駅周辺の順調な開発により、みらい平地区では子育て世代を中心に人口が増加しています。その一方で、従来からの地区では、高齢化・過疎化が進んでいます。

また、都市軸道路の整備や、首都圏中央連絡自動車道が平成

27年度に全線開通するなど、当市は都心から40km圏に位置していることもあって、交通の利便性の向上が今後も見込まれる地域でもあります。

このことから、子どもを産み育てやすい環境の充実と、高齢者の生きがいづくりと健康維持支援策の実施、さらには交通の

“みらい”を担う子どもたちに

誇れるまちづくりの実現へ

私は、子どもは社会全体で育むものであると考えています。そのためには、充実した教育環境を整え、未来を照らす希望の光である、子どもたちを地域社会の宝と考え、子どもから高齢者まで、将来に希望の持てるまちづくりを進めてまいります。

子育て世代への支援を充実

特に、子育て支援策については力を入れていきたいと考えております。待機児童の解消や、子どもの医療費無料化の拡充、

利便性を全面に押し出した企業誘致、市外に向け発信するシティプロモーションの推進など、これらの点に重心を置き、市政運営をしてまいります。

市政の健全化を

職員一人ひとりに効率化・迅速化の観点から業務の見直しを促す「ムリ・ムダ・ムラをなくそう！」の三ム主義を徹底し、業務・事業の改善に向けた取り組みを継続して実施します。今後も、事業の必要性や緊急性、重要性を見極めながら、市政の健全化に努めてまいります。

市民の皆様へメッセージ

私のまちづくりの目標のひとつであります「みんなが主役の協働のまち」の実現のためには、皆様のご協力が必要です。

皆様アイデアと活力を最大限に活かし、共にこれからのつくばみらい市を創っていきましよう。